

カキの実を食べる

カキノヘタムシガの
発生を長く抑えます。

ヘタムシコン[®]

(マシニッサルア剤)

®:信越化学工業(株)の登録商標

カキノヘタムシガの交信かく乱剤

ヘタムシコン〈5つの特長〉

- ① 性フェロモンでカキノヘタムシガの発生を抑える*。
- ② 殺虫剤の散布回数を減らすことが可能。
- ③ 天敵などを保護、IPM防除に使用可能。
- ④ 安全性が極めて高く、生態系に悪影響がない。
- ⑤ 殺虫剤に抵抗性を獲得した害虫にも有効。

*直接の殺虫作用はありません。

カキノヘタムシガ(幼虫)



カキノヘタムシガ(成虫)



カキノヘタムシガの交信かく乱剤

ヘタムシコン®

一般名	マシニッサルア剤
有効成分の種類および含有量	(E,Z)-4,6-ヘキサデカジエニル=アセタート……………58.0%
	(E,Z)-4,6-ヘキサデカジエニール……………5.8%
	安定剤等……………36.2%
安全性	人畜毒性：普通物（劇毒物に該当しないものを指している通称）
	魚毒性：この登録に係る使用方法では該当がない。
包装形態	100本入りアルミ袋

上手な使い方

設置時期

越冬世代成虫発生初期に設置してください。

処理量

通常の場合、本剤は10a当り100本とし、圃場の立地条件（傾斜）、周囲の状況や風向き等を考慮に入れて、8割程度を圃場全体にほぼ均等に設置してください。残りの2割程度を圃場の周辺部に処理すると効果的です。

処理位置

目通りの高さ（約150cm程度）に、なるべく圃場全体に均等になるように取り付けてください。但し、樹高が不均一の場合はなるべく高い位置に設置してください。

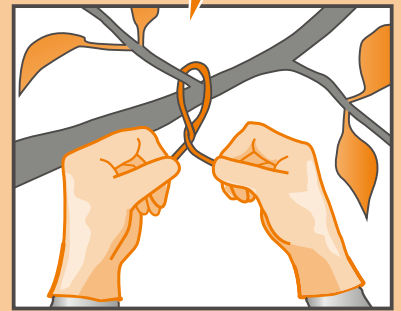
取り付け方法

枝に軽くひとひねりして固定してください。

設置面積

30a以上の圃場で設置することをお勧めします。更に、広域的に実施すると効果が高まります。

枝にかけて、ひとひねりすれば取り付け完了。



ヘタムシコンの登録内容

(2019年11月現在)

作物名	使用目的	適用病害虫名	使用量	使用時期	使用方法
かき	交尾阻害	カキノヘタムシガ	100～150本/10a (9.3g/100本製剤)	成虫発生初期から終期	ディスペンサーを対象作物の枝に挟み込み、または巻き付け設置する。

■使用上の注意事項

- 本剤は、カキノヘタムシガ成虫の交尾を連続的に阻害し、交尾率を低下させることによる次世代の密度低下を目的としているので、対象害虫の成虫発生初期から収穫期まで連続的に比較的広範囲な地帯で使用してください。
- 対象害虫が高密度に存在する場合には状況に応じて天敵に影響の少ない殺虫剤を併用してください。
- 本剤は樹木等に巻き付け、対象地帯に均一になるように設置してください。立地条件や風向、傾斜等により効果が振れる場合があるので、諸条件から判断して、必要な場合は使用量の範囲内で、特に周辺部に多めに設置してください。
- 急傾斜地、風の強い地帯等本剤の濃度を維持するのが困難な地域では使用しないでください。
- 製剤を直接ふれた手で収穫物を触ると臭いが移るおそれがあります。収穫物を触る前は手を洗ってください。

- 外装のアルミ箔袋を開封したまま放置すると有効成分が揮散するので、必ず使用直前に開封し、なるべく使い切ってください。やむをえず残った場合には密封し、5℃以下で冷蔵保管してください。
- 本剤の使用にあたっては、使用量、使用時期、使用方法等誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

■安全使用上の注意

- 本剤は皮膚に対して刺激性があるので、**使用の際は手袋、長スボン、長袖の作業衣などを着用**して薬剤が皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合は直ちに石けんでよく洗い落としてください。

○使用前にはラベルをよく読んでください。 ○ラベルの記載以外には使用しないでください。 ○本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

本資料は2019年11月現在の知見に基づいて作成されています。